



# 第72期 第2四半期株主通信

2017年4月1日から2017年9月30日まで



ロジスティクスに最適解を  
**大石産業株式会社**

証券コード：3943



## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当社は2017年9月30日をもって、第72期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業年度の第2四半期を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

## 事業の経過およびその成果

当期間における我が国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の新政権による政策動向や、中国を始めとするアジア新興国の経済動向、さらには東アジアにおける地政学的リスクの高まり等、世界経済の不確実性により、金融資本市場への影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、トータル・パッケージング・ソリューション提案による顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は主にフィルム製品の増収、海外部門における化学・食品向け重



代表取締役社長  
大久保 則夫

包装袋及び段ボール製品の大型ケース拡販等により90億38百万円(前年同期比5.3%増)となりました。利益については、売上増加や為替差益により、営業利益は6億85百万円(前年同期比6.6%増)、経常利益は7億82百万円(前年同期比15.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億71百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

なお、配当金額につきましては、中間配当金額は1株につき12円50銭(株式併合前の株式が対象)、平成30年3月期の期末配当につきましては同25円(株式併合後の株式が対象)を予想しております。

## 今期の見通し

2018年3月期の業績予測につきましては以下のとおりです。

売上高	<b>18,500</b>	百万円	(前期比 7.3%増)
営業利益	<b>1,400</b>	百万円	(前期比 1.6%増)
経常利益	<b>1,600</b>	百万円	(前期比 4.3%増)
当期純利益	<b>1,100</b>	百万円	(前期比 2.2%増)

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## CONTENTS

TOP MESSAGE	1
連結業績ハイライト	3
主要連結財務データ	4
セグメント情報	5
TOPICS	7
株式の概況	9
会社の概況	10



売上高 **9,038**百万円 (前年同期比 5.3%増)

営業利益 **685**百万円 (前年同期比 6.6%増)

経常利益 **782**百万円 (前年同期比 15.7%増)

四半期純利益 **571**百万円 (前年同期比 22.8%増)

## 第2四半期決算のポイント

売上高については、主にフィルム製品の増収、海外部門における化学・食品向け重包装袋及び段ボール製品の大型ケース拡販等により増収となりました。

利益については、売上増加や為替差益により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも増益となりました。

### 売上高

(百万円)



### 経常利益

(百万円)



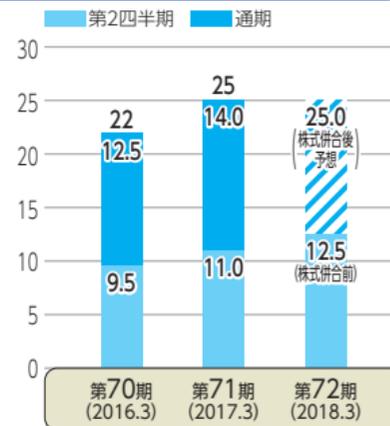
### 四半期純利益

(百万円)



### 一株当たり配当金

(円)





## 主要連結財務データ

科 目	第70期第2四半期 (2015.9)	第71期第2四半期 (2016.9)	第72期第2四半期 (2017.9)
売上高(百万円)	8,941	8,582	9,038
営業利益(百万円)	440	642	685
経常利益(百万円)	540	675	782
四半期純利益(百万円)	491	465	571
総資産(百万円)	18,688	18,545	20,858
純資産(百万円)	11,556	11,881	13,114
1株当たり四半期純利益(円)	61.35	58.03	71.25
1株当たり純資産(円)	1,441.29	1,480.44	1,633.34



## 緩衝機能材事業

売上高 **39**億 **24**百万円

### 営業の概況

**パルプモールド部門**は、畜産・農業分野ではメロン用トレーが減収となったものの、リニューアル効果で鶏卵トレーが増収であったこと、また、トマト用、デコポン用トレーも好調で、増収となりました。工業分野では消費財向けの需要増の影響で増収となり、パルプモールド部門全体でも増収となりました。

**段ボール部門**は、農業分野は春先の天候不順の影響で蔬菜関連向けが減収となったものの、工業分野での大型ケース拡販等により段ボール部門全体では増収となりました。

その結果、当事業の売上高は39億24百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

### ●主要製品紹介

#### [パルプモールド]

##### 青果物トレー

りんご、梨、トマト等の各種青果物用のトレーとして活用されています。パルプモールドは紙製品のため、結露した水分や熱を吸収し鮮度保持に効果的です。



#### [段ボール]

##### 簡易組立箱 OE-BOX

トマトやイチゴ等の青果物を収納する段ボールケースです。1枚のシートを折り曲げて簡単に組み立てが可能です。原紙を30%削減し、コストダウンを実現しました。



## 包装機能材事業

売上高 **49**億 **25**百万円

### 営業の概況

**樹脂部門**は、食品容器フィルムや機能性フィルムなどの出荷量は前期並みとなりましたが、販売価格の上昇により大幅に増収となりました。

**紙袋部門**は、国内は合成樹脂向けが低調に推移しましたが、化学薬品向け及び新規拡販が好調で増収、海外は化学、食品向けとも好調で大幅な増収となりました。

その結果、当事業の売上高は49億25百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

### ●主要製品紹介

#### [フィルム]

##### 封筒窓貼り用フィルム

ポリスチレンフィルムの持つ高いカット性を活かし、窓貼加工性向上のために帯電防止コートを施したうえで、封筒窓用のフィルムとして活用されています。



#### [重包装袋]

##### 肥料用重包装袋

化学肥料、有機肥料、培土、砂利等の各種分野で活用されているポリエチレン重包装袋です。重量のある内容物にも耐え、印刷美粧性等の機能も有しています。





## 1. 移動式パルプモールド工場「アルエコ」

当社はパルプモールドの啓蒙活動のため、北九州市エコタウンセンターにご協力いただき、自社開発した移動式パルプモールド工場「アルエコ」によるパルプモールド作りの体験イベントを開催いたしました。当日はエコ繋がりで北九州市の環境キャラクター「ていたん」をパルプモールドで作り、地域の皆さまとの交流を行いました。パルプモールド製「ていたん」の金型も3Dプリンターを利用して自社で作成しています。今後も移動式パルプモールド工場「アルエコ」による啓蒙活動を行い、地域との交流を深め、パルプモールドをより一層身近に感じていただけるような活動を行っていきます。

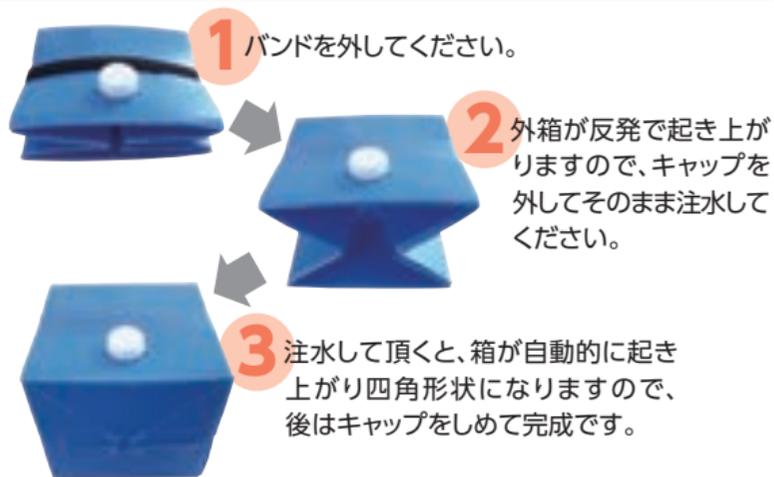


## 2. 2017日本パッケージングコンテスト入賞

公益社団法人日本包装技術協会主催の「2017日本パッケージングコンテスト」において、開発品『折りたたみ携帯用バックインボックス「たたむくん」』が日用品・雑貨包装部門賞を受賞いたしました。本製品は藤森工業株式会社様と共同で開発した10Lの給水用容器であり、災害時やキャンプ・レジャーでの給水にご活用いただけます。

当社は2015年:ゆりかごCタイプ、鋳鉄管用キャップ、2016年:トマトLsトレーに続き、3年連続での入賞となりました。

今後も機能性のある製品の開発を行い、お客様満足の上昇に努めていきます。



## 3. 大連大石包装有限公司の出資持分譲渡

当社は平成14年6月に大連大石包装有限公司を設立し、パルプモールド包装材の製造・販売を行ってまいりましたが、今後の海外戦略の一環として、選択と集中の観点から当該会社の出資持分を三葉電機(香港)有限公司様へ譲渡することといたしました。

今回の出資持分譲渡により、大連大石包装有限公司は当社の子会社ではなくなり、当社の連結子会社は株式会社アクシス、コアパックスマレーシア、エンコアラミネートの3社となります。



# 株式の概況

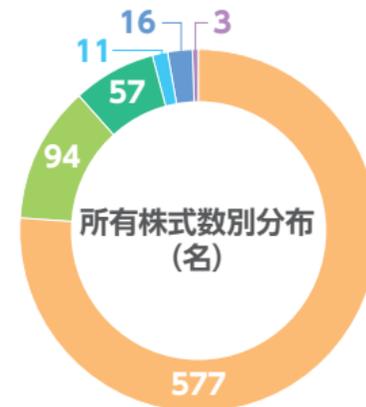
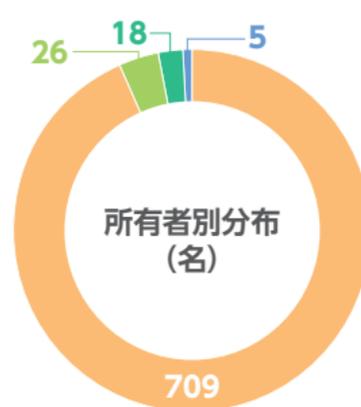
## ●株式の状況 (2017年9月30日現在)

- (1) 発行済株式の総数 9,328,000株 (自己株式含む)
- (2) 株主数 758名
- (3) 大株主

株主名	持株数	持株比率
中村泰子	609千株	7.42%
OSK社員持株会	517千株	6.30%
王子ホールディングス株式会社	463千株	5.64%
三井住友海上火災保険株式会社	446千株	5.43%
株式会社西日本シティ銀行	378千株	4.61%
株式会社福岡銀行	373千株	4.55%
株式会社北九州銀行	351千株	4.28%
伊藤忠紙パルプ株式会社	309千株	3.76%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	215千株	2.62%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	196千株	2.39%

(注) 持株比率は自己株式(1,114千株)を控除して計算しております。

## (4) 株式分布状況



- 個人・その他 709名 (93.5%)
- その他の法人 26名 ( 3.4%)
- 金融機関 18名 ( 2.4%)
- 外国法人等 5名 ( 0.7%)
- 5千株未満 577名 (76.1%)
- 5千株以上 94名 (12.4%)
- 1万株以上 57名 ( 7.5%)
- 5万株以上 11名 ( 1.5%)
- 10万株以上 16名 ( 2.1%)
- 50万株以上 3名 ( 0.4%)



# 会社の概況

## ● 会社の概要 (2017年9月30日現在)

商号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設立	1947年2月3日
資本金	4億6,640万円
支店・営業所	北海道／東北／関東／東京／関西／九州／ 熊本／大分／長崎／シンガポール
工場	八戸、茨城、鞍手、小倉、直方
従業員数	338名(グループ 520名)

### 連結子会社

株式会社アクシス	ENCORE LAMI SDN.BHD.
CORE PAX(M) SDN.BHD.	

### 取締役および監査役

代表取締役社長	大久保 則夫
専務取締役	久 継 雅 夫
常務取締役	田 中 英 雄
取締役	高 田 圭 二
取締役	山 口 博 章
取締役(社外)	長 門 博 之
常勤監査役(社外)	宮 地 郁 夫
監査役(社外)	川 本 惣 一
監査役(社外)	福 地 昌 能

## 株主メモ (2017年10月1日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.osk.co.jp/">http://www.osk.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	福岡
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

### 各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求は、インターネットでもお受け付けております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンタで印刷できます。)

2017年10月1日付で当社株式の単元株式数が1,000株から100株に変更となりました。また、同時に当社株式2株を1株に併合しました。

# 大石産業株式会社

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号  
TEL.093-661-6511 FAX.093-661-1641  
<http://www.osk.co.jp/>